



# 3月 園だより





令和6年3月1日 北区立清水坂保育園

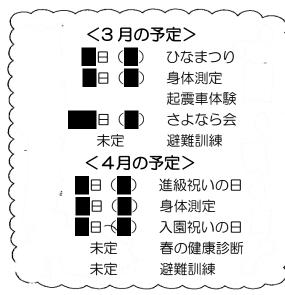
## 

景色が色づいてまいりました。春=花のイメージ、ありますよね。梅まつりや桃の節句、花見など、華や かな季節です。子ども達に説明するにも、ちょっと迷う3種の花たち。保護者の皆様は区別つきますか? 開花の順番は、梅→桃→桜。日本列島を北上しながら開花していくそうですが…。

	一か所に	花びらの先	木の幹
梅	1花	丸い	黒っぽくザラザラ
桃	2花	尖っている	白っぽくツルツル斑点模様
桜	多花	割れている	赤茶色でゴツゴツ横縞模様

比べるとずいぶん違いがあるみたいですが、実際にはよくわかりません。実を見ると確実なのでしょうが ちょっと待てないかな?梅で有名な水戸の偕楽園。桃といえば桃源郷。桜の名所は飛鳥山。全部見るなら清 水坂公園?!子どもたちの優れた観察力に驚かされることも多い毎日です。一緒に感動しながらも、少しは 教えてあげられることも増やしていきたいと思います。学びと感動をたくさんいただいた一年。保護者の皆 様、たくさんのご理解、ご協力ありがとうございました。 園長

## 





#### ≪園内職員研修

#### 取り組み報告≫

#### 〈公開保育グループ〉

日々一生懸命保育をしていると、視野が狭くな ってしまうこともあります。声の掛け方や援助の 仕方、環境構成や絵本の読み聞かせなど、テーマ を決めて保育を見合い、視野を広げていけるよう に意見交換をしながら取り組んできました。気付 いたことを伝え合うことで、多くの学びがあり、 それをまた保育に取り入れていくことができまし た。

これからも、よりよい保育となるよう、研鑽を 重ねていきたいと思います。



#### 〈ステップアップグループ〉

園での生活や活動の雰囲気が伝わるよう写真を 掲示したり、お知らせ等の分かりやすい場所の検 討をしたりしてきました。また、可愛らしいエピ ソードや成長を感じる姿を分かりやすくお伝えで きるよう、連絡帳の書き方について意見交換して きました。"お子さんが大人になっても取ってお きたい、大きくなったら見せてあげたい連絡帳" を目指していきたいと思います。

来年度も引き続き保護者の方とお子さんの成長 を共有し、喜び合えるよう努めてまいります。





### クラスだより

~ みんな 大きくなったね ~



1歳児

て過ごせるようになりました。

入園当初は、初めての園生活にドキドキしてい た子ども達。信頼関係が築かれるにつれて安心し

天候のいい日には園庭や散歩に出て、四季折々の発見を楽しんだり、のびのびと体を動かして遊ぶ心地よさを感じたりしてきました。室内遊びでは、興味に応じて玩具を設定し、コーナーを区切ってじっくり遊べる環境にしてきたことで、好きな遊びを満足いくまで楽しめるようになりまし

そんなこころと体の満足感をたくさん感じてきたことで行動範囲や見える世界もどんどん広がり、大人やお友だちのしていることにも気がついて「やってみたい!」という姿も増えていきました。この先はどんな世界が広がっていくのでしょう。今から楽しみです。

記

2歳児 組

沢山遊び、好きな遊びを見つけたり、熱中し、 繰り返し楽しんだりした1年。

大好きなデュプロブロックでは、散歩に行く時によく見かけるはしご車を作ったり、集中して高く高く積み上げたりと、作る物や自分で出来る幅が広がりました。お絵描きを 1 人が始めると、楽しそうだな、やってみたいな、とあっという間に大盛況。自由に好きな色を使って描くことを楽しんでいます。おままごとでは、ラーメンやカレー、アイスにドーナツ等お家や、保育園で食べた美味しい物が次々登場し、お友だちと一緒に作ったり、買いに行ったりして、モグモグ…。最後には洗い物のお片付けまで再現しています。

遊びの中で自分で考え、やってみることで楽しさや嬉しさを感じる瞬間が沢山あった子ども達。 その時間を共に過ごし、刺激を受け合える友だちの存在はかけがえのないものとなっています。これからもみんなで一緒に様々な経験をする中で、気持ちや思いを共有し、成長していきます。 3歳児

組

組では、1年間友だちと一緒にいろいろ な、わくわくを見つけました。子ども達の中で、特 にわくわく度が高い3つをご紹介します。

- 2.友だちと絵本を読む
- 3.氷鬼などのルールのある遊び

友だちを誘ってみんなで遊ぶことを楽しめるようになった子ども達。「今日〇〇さん来る?一緒にブロックしたいんだ」や絵本を一緒に見て、笑い合っている姿がほほえましいです。思いが伝わらずぶつかり合いながらも、友だちの気持ちに気が付いていけるといいなと思います。

この先も、どんなわくわくが待っているのか、楽しみです。

#### 4歳児組

最近の 組は「ねぇ今日は何して遊ぶ!?」「一緒に氷鬼しようよ!」などと毎日友だちと誘い合いながら楽しんでいます。体力がつき氷鬼などの鬼ごっこが始まると、ずっと走り続けている子ども達。「捕まりたくない!」「どうすれば勝てるかな」と自分達なりに考え、フェイントをかけるなど工夫している姿も見られるようになり、日々子ども達の成長に驚かされています。

友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ中では、ぶつかり合うことも。そのような時にもすぐに「せんせー!」と呼ぶのではなく、子ども同士で解決しようとするようになってきました。自分の思いを伝えるだけでなく、少しずつ友だちの伝えたいことも聞こうとするようになってきています。これからも友だちと一緒にトラブルも解決しながら遊びを進めていく楽しさを味わい、友だちとのつながりを深めていって欲しいと思います。